

自己コントロール力

校長 小松 裕和

2学期が始まって1か月余りが過ぎました。2学期は比較的時間にゆとりがあり、子どもたちにとってもじっくりと学習に取り組むことができます。そのような中でやっと校庭の整備が進み、各学年の畑に植物を植えることができるようになりました。

この「サバハナプロジェクト」は昨年度から続いておりますが、大きく違っている点は取り組むメンバー、そして、今年度からは科学的な視点を入れて検証実験をしていく点です。この取組に先立ち、子どもたちは植物観察に必要な視点について、横浜国立大学大学院で研究をしている内藤先生からお話を伺い、どんなことが必要なのかを学ばせていただきました。また、27日にはWFF（世界食糧フォーラム）カタール支部の方々の協力もいただき、「ハイドロジェル」という保水効果のあるジェルを作る活動もさせていただきました。

これから少しずつ涼しくなっていくカタールは、植物を育てるには一番適した時期となっています。子どもたちの予想した方法を検証しながらこの取組を来年横浜で開催される「世界園芸博覧会」で成果発表していきます。

さて、最近読んだ本の中に「じつは残酷なほめ育て社会」というものがあります。1990年代に子育ての一つとして話題となり、教育現場でも実践されるようになっていた「ほめて育てる」。褒めること自体は、子どもたちの自己肯定感を高め、自信を持って物事に取り組むことができることにつながるため、否定されるものではありません。ただ、近年の調査の中で忍耐力に乏しい子が増えているという結果も見られます。この傾向は、幼児期の子どもたちにも見られるようです。この「忍耐力」を育むキーワードは、非認知能力であると言われています。根気強さや自分を動機づける能力、必要に応じて感情や衝動を抑制する能力、協調性や共感力など自己をコントロールする力を育てることで徐々に忍耐力がついていくようです。また、心理学の研究では、この自己コントロール力は人生の成功を大きく左右するそうです。

では、褒めて育てることと忍耐力には、どのような関係があるのでしょうか。子どもを肯定的にとらえることは間違っていないですが、「褒められること」が子どもの内的な動機付けとなり、やる気を引き起こしているとした場合、その動機は長くは続かないようです。また、「褒められること」で満足が得られますが、「褒められない」状況に陥ったとき、一気に肯定感が失われるなど自己コントロールができない状況に陥る子が出てくるということです。つまり、褒められない状況、失敗すること、叱られる・指導されることなど自分の望まないことなども経験を重ねていくことで、自分の気持ちをコントロールしたり、協調したりする力がついていきます。これが忍耐力です。

子どもたちの取り組んでいる「サバハナプロジェクト」は、自然を相手にしているため、思い通りにならないことやたくさん失敗を積み重ねていきます。このような経験が子どもたち一人一人の忍耐力や自己コントロール力につながっていくことを期待しています。保護者の皆様には、1学期の大変苦しい時期、再開後の教育活動にもご支援とご理解をいただきましたことに心より御礼申し上げます。また、2学期からも教育活動を充実できるように教員が一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。



令和8年度

10月行事予定

ドーハ日本人学校

日	曜	学校行事等	下校刻
1	木	水泳学習（5・6校時）	14:20
2	金		
3	土		
4	日	第2回英検1次試験	15:15
5	月		15:15
6	火		14:15
7	水		15:15
8	木	校長会（弁当なし）	12:20
9	金		
10	土		
11	日		15:15
12	月		15:15
13	火	7時間授業	15:15
14	水		15:15
15	木	水泳記録会	14:20
16	金		15:15
17	土		14:15
18	日		15:15
19	月		15:15
20	火		14:15
21	水		15:15
22	木		15:15
23	金		15:15
24	土		15:15
25	日		15:15
26	月		15:15
27	火	語～る会（宿泊学習説明会）	14:15
28	水		15:15
29	木		15:15
30	金		15:15
31	土		15:15
【11月の主な行事予定】 ・6日（金） 漢字検定 ・8日（日） 第2回英語検定2次試験 ・14日（土） 学習発表会（弁当なし） ・15日（日） 振替休業日 ・25日（火） 教育相談、中学部期末テスト ・26日（木） 中学部期末テスト、小学部学力テスト			授業日数 21日